

# 平成 27 年度 定時 会員 総会 議案

平成 27 年度  
事業報告（報告事項）  
損益計算書〈正味財産増減計算書〉、  
貸借対照表、財産目録（承認事項）  
監査報告書

自平成 27 年 1 月 1 日 至 平成 27 年 12 月 31 日

平成 28 年度  
事業計画、収支予算書（報告事項）

自平成 28 年 1 月 1 日 至 平成 28 年 12 月 31 日

理事及び監事選任（選任決議事項）

任期 2 年（平成 30 年まで）

※注記 1

「会員（社員）総会参考書類」を本書は兼ねています。

※注記 2

「平成 27 年度定時会員総会招集通知」が裏表紙にあります。

平成 28 年 3 月 9 日  
公益社団法人北海道倶楽部

# 平成 27 年度定時会員総会 議案

## 平成 27 年度 事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録 監査報告書

自平成 27 年 1 月 1 日 至 平成 27 年 12 月 31 日

### 報告事項

「平成 27 年度庶務事項報告（総会、理事会報告 詳細は議事録に記録）」  
・・・・・・・・・・・・・1 ページ

「平成 27 年度事業報告」  
・・・・・・・・・・・・・10 ページ

「平成 27 年度 会員異動状況」  
・・・・・・・・・・・・・18 ページ

### 承認事項

「損益計算書（正味財産増減計算書）」  
・・・・・・・・・・・・・19 ページ

「貸借対照表」  
・・・・・・・・・・・・・20 ページ

「財産目録」  
・・・・・・・・・・・・・21 ページ

「キャッシュフロー計算書」  
・・・・・・・・・・・・・22 ページ

「計算書類に対する注記」  
・・・・・・・・・・・・・23 ページ

「監査報告書」  
・・・・・・・・・・・・・24 ページ

## 平成 28 年度 事業計画、収支予算書（報告事項）

自平成 28 年 1 月 1 日 至 平成 28 年 12 月 31 日

「平成 28 年度事業計画書」  
・・・・・・・・・・・・・25 ページ

「平成 28 年度収支予算書」  
・・・・・・・・・・・・・28 ページ

## 理事及び監事選任（選任決議事項）

任期 2 年（平成 30 年まで）

「理事及び監事選任（選任決議事項）」  
・・・・・・・・・・・・・29 ページ

（金額は原則円単位です。）

# 平成 27 年度庶務事項報告（総会、理事会報告 詳細は議事録に記録）

平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで

種 別	概 要
<p>1. 総会 平成 26 年度定時会員総会 3 月 12 日</p>	<p>「平成 26 年度 事業報告（報告事項）損益計算書（正味財産増減計算書）、貸借対照表、財産目録（承認事項）」の件 につき議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配付資料の確認の後、資料の 1～28 頁に基づき説明した。 議長は監事に監査報告を求めた。 監事は「平成 26 年度の事業・会計報告につき諸資料、帳票、帳簿などを詳細に調査した結果、適法かつ適正であること」、「理事の職務遂行についても適法かつ適正である」と報告した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めたが、全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>「平成 26 年度 事業計画、収支予算書（報告事項）」承認の件 について議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料 30～33 頁に基づき説明した。なお、公益認定委員会から次年度の予算書は公益法人の収支相償の原則、公益認定法第 5 条第 6 号の「公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を償う額を超えないと見込まれるものであること。」に即して作成していただきたいと指摘された旨報告した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>議長から、全般にわたり意見を募った。（詳細省略）最後に、倶楽部の公益事業のために、広く一般も含め、寄附のお願いをしているのでご協力をお願いしたいと発言した。 以上により本日の全議案原案のとおり決議され、審議は終了したので、午後 1 時 30 分過ぎ、議長は平成 26 年度定時会員総会の終了を告げた。  (於 東京 恵比寿 サッポロビール(株) 本社会議室)</p>
<p>2. 理事会（評議員会） 2 月 19 日</p>	<p><b>理事会の直前に理事会構成員も加わって評議員会が行われ理事会議案と同様の議案について検討され、その結果が理事会に反映されている事を踏まえ、評議員会の報告を省く。</b></p> <p>下記第 1 号議案から第 4 号議案まで、下記特記事項以外は原案の通り出席の理事全員が同意し、監事全員は異議を述べなかった。</p> <p>記 特記事項は以下の通り 第 4 号議案（3）については以下の通りとする。 会員である、町村衆議院議長に北海道倶楽部の事業にちなんだテーマで講演の打診をする。 第 4 号議案（4）①については以下の通りとする。 就業規則第 14 条を以下の通りに変更する。 第 14 条（定年と再雇用）</p>

種 別	概 要
	<p>定年は満 75 歳とし、この日をもって退職する。</p> <p>第 4 号議案（4）②については以下の通りとする。</p> <p>1 年を区切った業務委託の更新をする。次回更新時も理事会承認を得ること。なお、当初の年限を区切った趣旨である新しい紙面作りの導入などを前提に契約を更新すること。（紙面作りには企画部会の提案なども参考にする）</p> <p>第 4 号議案（4）③については以下の通りとする。</p> <p>世の中のベースアップの動きなどを参考に、2 人の嘱託職員の時間給の増を 30 円（約 2.3 %アップ）とし、4 月より時給 1,330 円とする。</p> <p><b>第 1 号議案 平成 26 年度会員総会に係る件(定款第 29 条第 1 項第 1 号の事項)</b> 別冊の資料、内閣総理大臣宛「事業報告等に係る提出書」一式の中の下記「総会議案（29 頁から）」につき審議をお願いしたい。 A018891 平成 26 年度事業報告及びその附属明細書（会員総会議案に係る部分）</p> <p><b>第 2 号議案 前号議案以外の「事業報告等に係る提出書」提出について決議する件</b></p> <p><b>第 3 号議案 新入会員審査の件、会員数ほかについて</b></p> <p><b>第 4 号議案 その他</b></p> <p>(1) 新年交礼会実施結果について キャンペーン「北方領土返還」、「北海道新幹線早期実現」、「ふるさと納税」をテーマに 1 月 30 日（金）18 時 ホテルニューオータニ 麗の間で行われた。</p> <p>(2) ふるさと北海道応援フォーラム 協力の件 倶楽部が協力して北海道経済部のふるさと北海道応援フォーラムが 2 月 13 日 15 時から 18 時まで 150 人の参加者を集め飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催された。倶楽部もキャンペーンのためブースを設置参加した。</p> <p>(3) 本年度講演会について</p> <p>(4) 4 月からの事務局体制ほかについて決議する件</p> <p>① 就業規則第 14 条による職員の定年とその対応について</p> <p>② 企画、会報制作ほかの業務委託契約終了の対応について</p> <p>③ 嘱託職員の雇用条件改定について</p> <p>(5) 平成 27 年度寄附のお願いの件</p> <p>(6) ビザ無し交流参加者を推薦する件</p> <p>(7) その他、本日の評議員会を踏まえた評議員会からの報告事項</p> <p>(8) 今後の会議予定 理事会、会員総会ほか</p> <p style="text-align: right;">（於 北海道東京事務所 会議室）</p>
<p>4 月 30 日 （書面理事会）</p>	<p>平成 27 年 4 月 30 日通常理事会議案（書面による全員同意の決議事項）</p> <p><b>第 1 号議案 「ふるさと納税等寄附の推進運動」と「北海道のための広報活動」の件</b></p>

種 別	概 要
	<p>本年度事業計画で定めた様に、本年度からギフト贈呈を終了し、北海道等の広報活動としてふるさと納税等寄附の推進運動を行って行くこととし、その具体策を企画部会で下記の通り検討したので了承願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道等の広報活動のため「北海道 "NOW"」の紙面を変更する。</li> <li>・1～3面の内容は従来通りとするが4面を北海道の自治体等の記事に特化する。</li> </ul> <p><b>第2号議案 新入会員審査の件</b>  <b>第3号議案 その他（報告承認事項）の件</b></p> <p>(1) 寄附金の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月27日現在 応募 97人、2,415,000円 入金者数 66人、入金実績 1,900,000円</li> </ul> <p>(2) キャンペーンの様況（平成27年4月27日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラウンリボンバッジの様況 本年度頒布数・金額／同累計 1,597個・252,250円／26,228個・4,501,613円</li> <li>・千島桜バッジの様況 本年度頒布数／同累計・金額 71個・17,250円／749個・184,070円</li> <li>新幹線バッジの様況 本年度頒布数／同累計・金額 16個・4,000円／3,179個・516,158円</li> </ul> <p>(3) 講演会について  諸般の事情により再選した高橋北海道知事に依頼する方向で進めている。</p> <p>(4) 今後の予定ほか</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 北方領土 ビザ無し交流  5月14～18日 香西副理事長と本間事務局長参加予定  7月対応については、担当の間瀬評議員会副議長が人選中</li> <li>② 交流の夕べ（予定）8月4日（火）18時 銀座七丁目ライオン</li> <li>③ 北方領土隣接地域交流は未定</li> <li>④ ノサップ岬マラソン8月16日（日曜日）の予定</li> <li>⑤ 情報展示イベント10月2～4日代々木北海道フェア参加予定</li> <li>⑥ 交流イベント（予定）10月27日（火）18時 明治記念館</li> </ol> <p>(5) 理事会予定</p>
6月18日	<p>議長は、出席の代表理事及び業務執行理事の全員に職務の執行状況の報告ならびに事務局長及び関係業務執行理事に本日の議案の説明及び報告を求め、各議案につき理事の意見とその賛否を求めた。下記特記事項以外は原案の通り出席の理事全員が同意し、監事全員は異議を述べなかった。</p> <p>記 特記事項</p> <p>理事会の直前に開かれた評議員会で以下の事前承認を得られた。</p> <p>理事会推薦予定の評議員田辺靖さんに辞任の佐藤剛前評議員が引き受けていた評議員会副議長と企画部会長の職を引き継ぐこと。</p>

種 別	概 要
	<p><b>第 1 号議案 評議員（含、部会構成員）辞任、推薦の件</b></p> <p><b>第 2 号議案 ビザ無し交流の件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香西副理事長と本間事務局長が参加を予定していた、5月の国後島の交流事業はロシア側の理由で中止された。（代替で8月の色丹島交流事業を打診されている。）</li> <li>・7月の2～6日の交流事業は鈴木評議員会議長が参加の予定である。</li> </ul> <p><b>第 3 号議案 交流の夕べの件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成 27 年 8 月 4 日（火）18～20 時</li> <li>・テーマ：北海道倶楽部の下記キャンペーンを紹介、広報する。</li> <li>・北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ キャンペーン 北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」バッジ、「千島桜」バッジ キャンペーン（「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD）</li> <li>・地域貢献</li> <li>・夕張市から本年も夕張支援のため、夕張メロン配布等の協力を依頼したい旨要望を受けている。（今回の具体的な方法は部会で検討することとしたい。）</li> <li>・北海道関係者の交流に資する。</li> </ul> <p><b>第 4 号議案 第 34 回北方領土ノサップ岬マラソン大会協力の件（添付資料：「協賛のお願い」ほか）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年と同様、標記に協力したい。</li> </ul> <p><b>第 5 号議案 平成 27 年度ふるさと北海道応援フォーラム開催協力の件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・添付の通り、本年度も開催を予定しており、松田会長の挨拶、案内先等についての協力依頼があったので、本年度も昨年同様の協力をしたい。</li> </ul> <p><b>第 6 号議案 北海道フェア参加の件</b></p> <p>昨年同様代々木の北海道フェアに参加する。（詳細は部会で検討する。）</p> <p>参加内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道情報の発信（倶楽部キャンペーンについての広報を主体とする。）テント内にテーブルを設置しパネル、パンフレットの展示、バッジの展示・配布。</li> <li>・北方領土返還要求推進の署名活動（北海道道担当部局や主催団体との事前調整が必要）</li> <li>・「北海道情報紙“北海道 NOW”を代々木近辺に新聞折り込配布」を昨年同様実施の予定。</li> <li>・日程：10月2日（金）～10月4日（日） 場所：代々木公園 B 地区</li> <li>・予算：昨年実績に準じる。</li> </ul> <p><b>第 7 号議案 交流イベントの件</b></p> <p>本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月27日（火）18時に行う予定。カボチャ配布など昨年同様に実施の予定であるが、詳細については部会で検討する。</p> <p><b>第 8 号議案 特別講演会の件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高橋知事に快諾を得たので、詳細は部会で検討し推進したい。</li> </ul>

種 別	概 要
	<p><b>第9号議案 後援名義の使用承認の件（事後承認 添付資料）</b>  「NPO 法人北海道科学活動ネットワーク」からの「'15 青少年のための科学の祭典北海道大会」開催に伴う後援名義の使用承認の件</p> <p><b>第10号議案 会員入退会、会員推移の件</b></p> <p><b>第11号議案 その他</b></p> <p>(1) 寄附金の状況 申し出総額 246万円(98人) 5月末実績 240万円(95人)</p> <p>(2) 会費の入金状況</p> <p>(3) バッジ類の配布状況（6月5日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジ 累計 26,447個 4,536,363円</p> <p>② 千島桜バッジ 累計 757個 186,070円</p> <p>③ 早期実現「新幹線」バッジ 累計 3,163個 512,158円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCD 累計 472枚 376,600円</p> <p>(4) 平成27年の通常理事会予定</p> <p>(5) イベント等の予定</p> <p>「交流の夕べ」 8月4日(火) 18時～ 銀座クラシックホール</p> <p>「北海道フェア」 10月2日(金)～4日(日) 代々木公園B地区</p> <p>「交流イベント」 10月27日(火) 18時～ 明治記念館  (於 北海道東京事務所 会議室)</p>
<p>8月31日  (書面理事会)</p>	<p>平成27年8月31日通常理事会議案（書面による全員同意の決議事項、各理事の職務の執行状況の報告を兼ねる。）</p> <p><b>第1号議案 顧問・評議員の退任、推薦の件</b></p> <p><b>第2号議案 北方領土の「いわゆるビザ無し交流」事業参加報告の件</b></p> <p>(1) 国後・択捉島</p> <p>① 参加者 鈴木 秀一 評議員会議長 期間 7月2日～6日</p> <p>② 主催団体 独立行政法人北方領土問題対策協会</p> <p>(2) 色丹島</p> <p>① 参加者 本間 修 常務理事・事務局長 期間 8月7～10日</p> <p>② 主催団体 公益社団法人北方領土復帰期成同盟</p> <p>(3) 費用 いずれも原則として主催団体の負担</p> <p><b>第3号議案 交流の夕べ開催 報告の件</b></p> <p>(1) 日時:平成27年8月4日(火)18～20時 場所:銀座クラシックホール(東京都中央区銀座7-9-20 ライオン銀座7丁目ビル6F) 参加者:115人</p> <p>(2) テーマ:西村理事長から、北海道倶楽部のキャンペーンを紹介、広報した。</p> <p>(3) 大島 由晋夕張市理事が参加し、夕張メロンの直販や夕張メロンソーダの無料頒布など夕張市支援キャンペーンを行った。</p> <p><b>第4号議案 第34回北方領土ノサップ岬マラソン大会協力の件</b></p> <p>(1) 昨年と同様、標記に協力した。</p> <p>(2) 協力内容:マラソン大会の「プログラム広告」と「賞品(地場産品)」</p>

種 別	概 要
	<p>提供、大会 HP にバナー。 日時等:8月16日(日) 根室市役所前集合、エントリー 785 人、完走 696 人。今年の開会式は鈴木勝春評議員が参列した。</p> <p><b>第 5 号議案 代々木北海道フェア参加の件</b> 部会で検討中。内閣府提出の昨年度事業報告の「収支相償の額がプラスとなる場合の今後の剰余金の扱い」の対応の一つとしてとして今年度北海道フェアで配布する”北海道 NOW” 増刊号の増ページにあてる。企画部会で”北海道 NOW” 増刊号の主要記事は根室振興局管内の 1 市 4 町(北方領土隣接地域) の紹介とすることを提議された。</p> <p><b>第 6 号議案 後援名義の使用承認の件 (事後承認)</b></p> <p><b>第 7 号議案 交流イベントの件</b> ・本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月27日(火) 18時に行う予定。詳細については部会で検討し、報告する。</p> <p><b>第 8 号議案 特別講演会の予定</b> 日時:9月2日 13時30分北海道スクエアー 2階会議室 講師:高橋はるみ 北海道知事 演題:「北海道のために」で開催の予定である。</p> <p><b>第 9 号議案 新入会員審査の件</b></p> <p><b>第 10 号議案 その他、報告事項</b></p> <p>(1) 寄附金の状況 申し出総額 273 万円 (102 人) 8 月末実績 257 万円 (100 人)</p> <p>(2) 会費の入金状況</p> <p>(3) バッジ類の配布状況 (8 月 31 日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジ 累計 26,485 個 4,545,613 円</p> <p>② 千島桜バッジ 累計 831 個 201,820 円</p> <p>③ 早期実現「新幹線」バッジ 累計 3,167 個 513,158 円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶ C D 累計 473 枚 377,600 円</p> <p>(4) 通常理事会予定</p> <p>(5) イベント等の予定「新年交礼会」1月22日(金) 18時~ニューオータニ (於 北海道東京事務所 会議室)</p>
10月15日	<p>平成 27 年 10 月 15 日通常理事会議案 (決議事項及び代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告)</p> <p>議長は、出席の代表理事及び業務執行理事の全員に職務の執行状況の報告ならびに事務局長及び関係業務執行理事に本日の議案の説明及び報告を求め、各議案につき理事の意見とその賛否を求めた。原案の通り出席の理事全員が同意し、監事全員は異議を述べなかった。</p> <p><b>第 1 号議案 北海道フェア in 代々木出展報告の件</b> 37.7 万人の入場者であった。(前年は 18.7 万人) 今年も倶楽部は会場周辺の全国紙朝刊に北海道情報紙「北海道 `NOW、」(別添参照) を 10.8 万部折り込み、倶楽部キャンペーンの広報活動を行った。今</p>

種 別	概 要
	<p>年は、昨年の公益事業の剰余金を用いて、昨年に比べ4面増（倍増）やした。倶楽部のキャンペーン記事のほか、北方領土隣接地域の根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町の地域振興に役立つ紹介記事を掲載した。</p> <p>北方領土返還キャンペーン、北海道新幹線キャンペーンなどを行った。</p> <p>倶楽部のブースでは、キャンペーンバッジやCDの販売、さらに「はぼまい昆布しょうゆ（500ml）」（北海道根室市）の無料配布を行い、盛り上げた。</p> <p>北海道北方領土対策本部が倶楽部のブース前に署名コーナーを設け、内閣府北方対策本部からも応援が来て北方領土問題を多くの入場者にアピールし、多数の署名が寄せられた。</p> <p><b>第2号議案 交流イベント、平成28年新年交礼会の件</b></p> <p>(1) 「明治記念館」で、10月27日(火)18時に開催予定。「ふるさと納税」「北方領土返還」「新幹線早期実現」のキャンペーンを行う。本年は、北海道根室振興局がブースを出展し、管内商品の紹介、試食、景品の提供などを行い地域の振興のための活動を行う予定である。</p> <p>(2) 平成28年新年交礼会は会員以外の一般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業として開催する。平成28年1月22日(金)18時 ホテルニューオータニ 麗の間</p> <p><b>第3号議案 その他、報告事項</b></p> <p>(1) 寄附金の状況 9月末実績 257万円</p> <p>(2) 会費の入金状況</p> <p>(3) ブラウンリボンバッジの状況 累計 21,350個</p> <p>(4) 千島桜バッジの状況 累計 910個</p> <p>(5) 北海道新幹線バッジの状況 累計 3,215個</p> <p>(6) ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 累計 475枚</p> <p>(7) 来年度の事業計画・予算 12月が期限である。本年と同様の計画並びに予算を提出したい。</p> <p>(8) 北海道根室振興局から管内の地域振興について、協力依頼が来ているので、打ち合わせの上協力したい。</p> <p>(9) 通常理事会・評議員会予定</p> <p>(10) イベント等の予定  「交流イベント」 10月27日(火)18時～ 明治記念館  「新年交礼会」 1月22日(金)18時～ ニューオータニ</p> <p><b>第4号議案 会員入退会、会員推移の件</b>  (於 北海道東京事務所 会議室)</p>
12月17日	<p>平成27年12月17日通常理事会議案（決議事項）  （決議事項及び代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告）</p> <p>議長は、出席の代表理事及び業務執行理事の全員に職務の執行状況の報告ならびに事務局長及び関係業務執行理事に本日の議案の説明及び報告を求め、各議案につき理事の意見とその賛否を求めた。原案の通り出席の理事全員が同意し、</p>

種 別	概 要
	<p>監事全員は異議を述べなかった。</p> <p><b>第 1 号議案 平成 28 年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件（別紙参照）</b></p> <p>(1) 事業計画書について 別紙の通り、平成 28 年の事業計画を作成した。基本的に平成 27 年度事業計画書に準じ作成した。以下の 2 項について特記する。</p> <p>1) 地域活性化事業支援の項で、10 月理事会において北海道根室振興局から要望のあった管内の地域振興について、協力依頼を受けた件を対応する</p> <p>2) 広報活動の項で、昨年度開始した、道内各自治体の紹介ページ（ふるさと納税なども紹介）を継続するとともに、増ページやさらなる拡充（新幹線沿線自治体紹介）を企画する。</p> <p>(2) 収支予算書について 8 ページの「別紙 平成 28 年度収支予算書」の通り、平成 28 年度収支予算を作成した。</p> <p>(3) 資金調達及び設備投資の見込み 別紙（9 ページの「別紙 資金調達及び設備投資の見込み」）の通り。</p> <p><b>第 2 号議案 平成 27 年事業報告等の作成方針について</b></p> <p>(1) 平成 27 年度「事業報告」等は昨年準じて作成しその後、監査を受け、2 月理事会で承認後 3 月の定時会員総会で報告・承認を得ることとした。</p> <p>(2) 3 月の定時会員総会は役員改選となる。2 月理事会での検討が必要である。</p> <p><b>第 3 号議案 イベントの開催及び参加について</b></p> <p>(1) 「代々木北海道フェア」出展報告 10 月 2 日から 4 日まで東京・渋谷区の代々木公園で開かれた。3 日間の入場者は 37 万 7 0 0 0 人であった。倶楽部はキャンペーンなどを P R するため、北海道情報紙「北海道 "NOW" 別冊（チラシ）」を 11 万部作成。新聞折り込みで、会場に近い渋谷、新宿、港、目黒区など在住の都民に配った。北方領土返還署名コーナーも。道や内閣府のスタッフらが、協力を呼びかけ 3 日間で昨年を 6 0 0 人近く上回る、1 5 4 3 人分の署名を集めた。 昨年度の剰余金を公益事業で費消することとし情報紙を 4 頁増としたため、収支は差引△ 1,292,124 円となった。</p> <p>(2) 「交流イベント」開催報告 北海道倶楽部が取り組む 3 キャンペーンの推進を目的とした、「第 52 回交流イベント」は 10 月 27 日会員ら約 2 7 0 人（実質）が参加して東京・港区の明治記念館で開かれた。イベントには領土運動を行っている道根室振興局がコーナーを設置。「根室管内活性化の北海道倶楽部の協力」を呼びかけた。例年通り参加者には帯広農業</p>

種 別	概 要
	<p>高産のカボチャなどお土産を配った。</p> <p>本年は支出は昨年と同様であったが、入場者の減で収入が△715,000円減となった。来年度の課題である。</p> <p>(3) 「北方領土返還要求中央アピール行進」参加報告 本年の標記行動に岡村副理事長以下総計5名で参加した。</p> <p>(4) 「北方領土返還要求全国大会」に参加予定 恒例の全国大会（平成28年2月7日、日比谷公会堂）に参加する。</p> <p>(5) 「平成28年新年交礼会」開催予定 10月理事会で決議の通り会員以外の一般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業として例年に準じ下記の要領で開催する。平成28年1月22日（金）18時 ホテルニューオータニ 麗の間</p> <p><b>第4号議案 新入会員審査の件、会員数、最新役員一覧ほかについて</b></p> <p><b>第5号議案 その他報告事項</b></p> <p>(1) 「平成28年度会員名簿・北海道情報」発刊について ・平成28年は隔年の標記発刊年にあたる。平成26年度に準じ発刊したい。原資となる広告募集等のご協力をお願いしたい。</p> <p>(2) 寄附金の状況 ・12月11日現在実績 267万円、102人 ・平成28年度寄附金の募集は27年度と同様とし、3月開始の予定。</p> <p>(3) 会費の入金状況 ・平成28年度会費（1月～12月分）の請求は4月の予定。</p> <p>(4) ブラウンリボンバッジの状況 ・本年度（12/11現在）2164個、累計26,795個</p> <p>(5) 千島桜バッジの状況 ・本年度（12/11現在）277個、累計955個</p> <p>(6) 北海道新幹線バッジの状況 ・本年度（12/11現在）61個、累計3,224個</p> <p>(7) ちぎれ千島に雲がとぶ（CD）の状況 ・本年度（12/11現在）5枚 累計476枚</p> <p>(8) 定時会員総会 総会は3月7日（月）か9日（水）若しくは10日（木）を予定している。12時30分開始の予定。 （会場等の状況で再調整したい。） 昼食の用意はない。 （於 北海道東京事務所 会議室）</p>

種 別	概 要			
<p><b>1. キャンペーン推進のための事業</b> (1) 新年交礼会 1月30日</p>	<p>1月30日(金) 18時 ホテルニューオータニ麗の間 会費1万円</p> <p>120名超の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「北海道新幹線早期実現」「ふるさと納税」をテーマに新年交礼会を開催した。 (次第、写真及び会報記事参照)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><b>We Love Hokkaido</b></p> <h2 style="text-align: center;">平成27年新年交礼会</h2> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会の辞 北海道倶楽部副理事長 香西 慧</li> <li>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部理事長 西村 守正</li> <li>3. 来賓祝辞 国土交通省大臣官房審議官 山口 登美男 様 北海道 副知事 高井 修 様</li> <li>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</li> <li>5. 主催者ご挨拶 北海道倶楽部会長 松田 昌士</li> <li>6. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</li> <li>7. 懇談 6:30 積極的な交流(名刺交換など)を願います。</li> <li>8. 閉会(流れ解散) 8:00</li> </ol> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略) 政党・国会議員(および事務所の代理の方) 衆議院議員 荒井 聡 参議院議員 財務大臣政務官 竹谷 とし子 衆議院議員 松本 謙公 国土交通省 大臣官房審議官 山口 登美男 北海道 副知事 高井 修 東京事務所長 浦本 元人 帯広市 小池 晃一 釧路市 若生 貴仁 苫小牧市 加賀谷 隆 室蘭市 石戸谷 勝治</li> </ol> </td> </tr> </table> <p style="font-size: small; text-align: center;">平成27年1月30日(金) 午後6時～8時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>We Love Hokkaido</b></p> <p>ふるさと納税・北方領土返還・新幹線早期実現</p> <h3 style="color: red;">キャンペーン</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>北海道 新幹線 早期実現</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ブラウ ンリボン 北方領土返還</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>千島桜 シンボル 北方領土返還</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ふるさと納税</p> </div> </div> <p style="font-size: x-small;">ご来場の方は「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」「新幹線バッジ」の何れかを お付けください。お申し込みをお願いします。(受付で用意しております。4個1組千円) ※ お贈りに「ふうれん田舎餅」(豆餅)などをお土産用にご用意しておりますので、是非お持ち帰り下さい。 (数に限りがございますので、ご了承下さい。)</p> </div> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会の辞 北海道倶楽部副理事長 香西 慧</li> <li>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部理事長 西村 守正</li> <li>3. 来賓祝辞 国土交通省大臣官房審議官 山口 登美男 様 北海道 副知事 高井 修 様</li> <li>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</li> <li>5. 主催者ご挨拶 北海道倶楽部会長 松田 昌士</li> <li>6. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</li> <li>7. 懇談 6:30 積極的な交流(名刺交換など)を願います。</li> <li>8. 閉会(流れ解散) 8:00</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略) 政党・国会議員(および事務所の代理の方) 衆議院議員 荒井 聡 参議院議員 財務大臣政務官 竹谷 とし子 衆議院議員 松本 謙公 国土交通省 大臣官房審議官 山口 登美男 北海道 副知事 高井 修 東京事務所長 浦本 元人 帯広市 小池 晃一 釧路市 若生 貴仁 苫小牧市 加賀谷 隆 室蘭市 石戸谷 勝治</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会の辞 北海道倶楽部副理事長 香西 慧</li> <li>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部理事長 西村 守正</li> <li>3. 来賓祝辞 国土交通省大臣官房審議官 山口 登美男 様 北海道 副知事 高井 修 様</li> <li>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</li> <li>5. 主催者ご挨拶 北海道倶楽部会長 松田 昌士</li> <li>6. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</li> <li>7. 懇談 6:30 積極的な交流(名刺交換など)を願います。</li> <li>8. 閉会(流れ解散) 8:00</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 来賓ほかのご紹介(敬称略) 政党・国会議員(および事務所の代理の方) 衆議院議員 荒井 聡 参議院議員 財務大臣政務官 竹谷 とし子 衆議院議員 松本 謙公 国土交通省 大臣官房審議官 山口 登美男 北海道 副知事 高井 修 東京事務所長 浦本 元人 帯広市 小池 晃一 釧路市 若生 貴仁 苫小牧市 加賀谷 隆 室蘭市 石戸谷 勝治</li> </ol>			
<p>(2) 平成27年北方領土返還要求全国大会 参加 2月7日</p>	<p>当倶楽部も一員となっている大会実行委員会の主催により2月7日の北方領土の日に東京の日比谷公会堂で安倍総理、岸田外相を迎えて元島民代表や全国の返還要求運動団体代表者ら1600人が参加して平成27年北方領土返還要求全国大会が開催され、倶楽部からも香西副理事長以下5名の企画部会メンバーが参加した。</p>	 		
<p>(3) 平成26年度ふるさと北海道応援フォーラム 協賛 2月13日</p>	<p>北海道と北海道企業誘致推進会議が主催し、倶楽部が協賛した「ふるさと北海道応援フォーラム」は2月13日千代田区飯田橋ホテル・メトロポリタン・エドモントで開催されて200人を超える参加者で賑わった。(次第及び写真参照)</p>			

種 別 概 要

- 第1部 (講演会)
- 開催挨拶
- 本道ゆかり企業からのプレゼン
  - ・最先端植物工場を苫小牧に立地して
  - ・清水町の小学校をせんべい工場に
  - ・市町村からのふるさと応援プレゼン
  - ・ホワイトデーセンター構想
  - ・「やっかいものだった雪を逆転の発想で活用」
  - ・くしろの地域資源を活かしたビジネスの誘致
- 大学からのふるさと応援プレゼン
  - ・北海道大学の「今」と産学連携の取り組み
  - ・北海道からの情報提供
  - ・地域(ふるさと)と心をつなごう
- 〜北海道での新しいビジネスのご提案〜
- 第2部 (交流会)
- 開催挨拶
- 乾杯
- 懇談



(4) 交流の夕べ

8月4日

北海道倶楽部主催の「第19回交流の夕べ」が8月4日夜、東京・銀座で開かれた。(次第、写真参照)

交流の夕べは財政再生中の夕張市支援も目的。倶楽部会員、会員以外をあわせ約120人が参加。開会あいさつで、西村守正理事長は倶楽部が進めるキャンペーンの現状などを話した。

- ①北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ
- ②北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」「千島桜」バッジ
- ③夕張支援などへの地域貢献

続いて、国土交通省の池田潤・大臣官房審議官は「国交省は現在、新北海道開発計画を策定中だ。最大のテーマは本格的な人口減対策。豊かな自然は北海道の強みで、来春は北海道新幹線も開業するなど、チャンス

第19回公益社団法人北海道倶楽部交流の夕べ

平成27年8月4日(火) 銀座クラシックホール

次 第  
(開始18時00分)

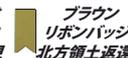
- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 1. 開会挨拶                               | 西村 守正 (理事長)  |
| 2. 祝辞                                 | 池田 潤 様 (国土交通省 大臣官房審議官)<br>岡田 恭一 様 (北海道 東京事務所 所長)                       |
| 3. ご来賓、国会議員<br>東京事務所長ほかご紹介<br>新入会員ご紹介 | (名簿○印記載の通り) (敬省略)<br>昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員所属の登録会員」のいずれも出席者 (名簿※印記載の通り) |
| 4. 夕張からのお願い                           | 大島 由晋 様 (夕張市理事)  |
| 5. 主催者挨拶<br>及び乾杯 (18時30分)             | 松田 昌士 (会長)   |
| 6. 懇談                                 |  |
| 7. アトラクション(19時頃)                      | サンバ (ピヤホールの日恒例)  |
| 8. 抽選会 (19時30分)                       | 伊野 達哉 (評議員会副議長)  |
| 9. 中締め (20時)                          | 鈴木 秀一 (評議員会議長)   |

夕張市に支援を!!

We Love Hokkaido

北方領土返還・ふるさと納税・北海道新幹線早期実現

キャンペーン



種 別	概 要	
	<p>になる」と、祝辞を述べた。</p> <p>その後、岡田恭一・道東京事務所長があいさつ。好調なふるさと納税の2014年度実績について、「道と市町村で前年度を25%上回る、7億1000万円の寄付があった」とし、来春の道新幹線開業を盛り上げるため「東北の夏祭りにキャラバン隊を派遣、首都圏では東京駅で開業をPRする」など、道の取り組みを説明した。</p> <p>懇親会では参加者らが交流。また、「8月4日ビヤホールの日」恒例のサンパチームのダンサーらが会場に姿を見せ、テーブルには夕張メロンも。大島由晋・夕張市理事が「今年の夕張メロンは天候にも恵まれ最高のでき、夕張メロンを買って支援を」など鈴木直道市長の支援要請のメッセージを伝えた。</p>	
<p>(5) 平成27年度ふるさと北海道応援フォーラム(第2回) 協賛 8月19日</p>	<p>道などが主催する「平成27年度ふるさと北海道応援フォーラム」(第2回、倶楽部協賛)が8月19日、東京・飯田橋の「ホテルメトロポリタンエドモント」で開かれ、約260人の参加者が、道内ゆかりの企業人や大学、自治体などの講演に耳を傾けた。高橋はるみ知事は北海道倶楽部の松田昌士会長ら3人に、「ふるさと北海道応援大使」を委嘱した。</p> <p>同フォーラムは、首都圏など道外在住の道産子や道内大学出身者らに、北海道の「今」を伝え、合わせて企業立地など支援を求めるのが狙い。今回は2回目で倶楽部も後援している。</p> <p>第1部のセミナーでは企業人、道内自治体の首長、大学関係者ら6人がスピーチ。倶楽部からも会員の川村隆さん(日立製作所相談役)が講演し、ふるさと北海道への思いや、ビジネスフィールドとしての北海道の可能性などについて、話した。</p> <p>高橋知事もあいさつし、「食や観光振興など北海道の強みを生かし、深刻化する人口減対策に、対応していきたい。道外に住むみなさんも協力を」などと訴えた。この後、知事から倶楽部の松田会長をはじめ川村さんらに「ふるさと北海道応援大使」の委嘱状が手渡された。(写真参照)</p>	
	<p>(6) 北方領土ノサップ岬マラソン 協力 8月16日</p>	<p>倶楽部が協力している北方領土の早期返還を願う、「第34回北方領土ノサップ岬マラソン」が8月16日、根室市内で開かれた。大会には招待された埼玉県公の公務員ランナー、川内優輝選手ら道内外からの700人余が参加、ハーフや10キロなど3種目で日ごろの健脚を競った。(写真参照)</p> <p>大会は根室市など実行委が主催、北海道倶楽部は2010年から大会に賞</p> <div data-bbox="906 1442 1481 1861" data-label="Complex-Block"> <p><b>公益社団法人北海道倶楽部は北方領土返還運動に協力しています</b> 北方領土ノサップ岬マラソン大会</p> <p>公益社団法人北海道倶楽部(会長松田昌士、東京日本橋東洋株式会社顧問)とは、昭和2年に新渡戸稲造博士など在京の北海道ゆかりの人たちが結成した公益法人です。公益社団法人として、公益事業(下記キャンペーンなど)を行っております。</p> <p><b>北海道倶楽部の提供品</b> ◎参加者に特産品を贈呈(抽選)</p> <p><b>地域活性化事業支援活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「三陸津三シェフ in 知床のうす」(北方領土産地産地活性化) 毎月5日(祝日)にて開催された「三陸津三シェフ in 知床のうす」のイベントに協力しました。</li> <li>2. <b>ふるさと納税キャンペーンなどの広報活動</b> 当法人では2008年の制度発足時から、北海道へふるさと納税キャンペーンとして北海道知事の名前で「ふるさと応援大使館員任命状」をお渡しし、5千円相当の「道産品(ぞつたろろ)」を贈呈してまいりました。その結果2014年までに1200件もの成果がありました。</li> <li>3. 北方領土の自治体地域観光情報、移住情報、企業誘致情報、ふるさと納税情報などを当法人の広報誌ほかに掲載し、道外に広報活動致します。</li> </ol> <p><b>北方領土返還運動推進キャンペーン</b></p> <p>1. <b>「千島旗」パッチ</b>：(有料頒布 送料はH.P.参照) 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行して、それをしっかりと後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠です。返還運動に関心を持つ方々の広報活動推進するため、返還を促しその熱意を明らかにする必要があるため、旗の裾をかがけとなる「千島旗」や、「千島旗」を模した「千島旗」のデザインを「アソウリボン」や「千島旗」の模様のデザインを「アソウリボン」の模様のデザインとして提供いたします。</p> <p>2. <b>「アソウリボン」パッチ</b>：(有料頒布 送料はH.P.参照) 国旗のデザインをモチーフとした「アソウリボン」や「千島旗」の模様のデザインを「アソウリボン」の模様のデザインとして提供いたします。</p> <p>3. <b>「千島旗」パッチ</b>：(有料頒布 送料はH.P.参照) 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行して、それをしっかりと後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠です。返還運動に関心を持つ方々の広報活動推進のため、返還を促しその熱意を明らかにする必要があるため、旗の裾をかがけとなる「千島旗」や、「千島旗」を模した「千島旗」のデザインを「アソウリボン」や「千島旗」の模様のデザインとして提供いたします。</p> <p>4. <b>CD「われわれは島に帰りたい」</b>：(有料頒布 送料はH.P.参照) 「竹野野郎」の楽曲「われわれは島に帰りたい」をテーマにしたCDを制作し、北方領土返還運動の推進に貢献いたします。</p> <p>〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1F 電話 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022 公益社団法人北海道倶楽部 URL: http://www.hokkaido-c.or.jp mail:hokkaido@solet.com.jp</p> </div>

種 別	概 要
	<p>品の提供やプログラム広告（前頁参照）など「協力」しており、開会式に今年は、評議員の鈴木勝春さん（横浜市、根室管内別海町出身）が出席した。</p> <p>ノサップ岬四島のかけ橋広場で行われた開会式の後、ハーフ、10<sup>キロ</sup>、3.7<sup>キロ</sup>の3種目に分かれ、ゴールの根室市役所を目指した。</p> <p>表彰式が行われ、倶楽部から抽選で選ばれた選手に、特産のたらこやいくら、サンマなど特産品を贈られ、川内選手のトークイベントも開かれた。</p>
<p>(7) 北海道フェアに出展</p> <p>10月2～4日</p>	<p>道内の「秋の味覚」を満載した「第27回北海道フェア in 代々木」（実行委主催、北海道倶楽部など後援）が、10月2日から4日まで東京・渋谷区の代々木公園で開かれた。期間中は好天に恵まれ、3日間の人出は37万7000人に。首都圏各地から訪れた人たちは、北海道の海や山の幸に舌鼓を打った。</p> <p>倶楽部はキャンペーンなど取り組む活動をPRするため、「北海道NOW」別冊（下記参照）を11万部作成し、倶楽部のキャンペーンや根室地域の1市4町を紹介した。（昨年の剰余金を充当し本年は8頁に倍増）新聞折り込みで、会場に近い渋谷、新宿、港、目黒区など在住の都民に配った。</p> <p>倶楽部は根室から取り寄せた、「はぼまい昆布しょうゆ」を来場者にプレゼント、長い列ができた。倶楽部ブースの北方領土返還を求める署名コーナーも。道や内閣府のスタッフらが、連日入場者に協力を呼びかけた結果、3日間で昨年を600人近く上回る、1,543人分の署名を集めた。（下記写真参照）</p>
	
<p>(8) 第52回交流イベント</p> <p>10月27日</p> <p>（旧道産子の会）</p>	<p>北海道倶楽部が取り組む「北方領土返還促進」などキャンペーンの推進を目的とした、「第52回交流イベント」が10月27日夜、会員、会員以外も含み約270人（実質）が参加して東京・港区の明治記念館で開かれた。イベントには領土運動で、ここ数年倶楽部との関係を深めている、道根室振興局が初めてコーナーを設置。「根室管内活性化のため、ぜひ北海道倶楽部の協力を」と呼びかけた。</p> <p>イベントは午後6時から始まり、西村守正理事長がキャンペーンについてあいさつ。この後、国土交通省の岡部和憲・北海道局長、岡田恭一・道東京事務所長らが祝辞。岡部局長は「2030年度とされる道新幹線札幌延伸</p>

種 別	概 要
	<p>の工期短縮に努力する」と話した。</p> <p>続いて、懇親会に。舞台では北方領土を歌った「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」などバイオリンと歌が披露され福引抽選会や参加者には帯広農業高産のカボチャなどお土産もありイベントを盛り上げた。御協賛社は77社に上った。</p>
<p>九、福引抽選 倶楽部副理事長 香西 慧 散会（20時）</p> <p>八、懇親（18時30分） 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」ほか 歌うバイオリンスト「清野百香」</p> <p>七、乾杯 倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>六、倶楽部会長挨拶 松田 昌士</p> <p>五、「千島桜むろプロジェクト」お願い 北海道根室振興局 主幹 岸内 岳宏様</p> <p>四、政党、国会議員、国土交通省、北海道、 市町村、宮崎県関係者ほかご紹介</p> <p>三、北海道ご挨拶 北海道東京事務所所長 岡田 恭一様</p> <p>二、国土交通省ご挨拶 北海道局長 岡部 和憲様</p> <p>一、開会の辞（北海道倶楽部のキャンペーン推進について） 倶楽部理事長 西村 守正</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">  <p style="font-size: small;">北海道キャンペーン 北方領土返還・地域活性化ふるさと納税・新幹線早期実現</p> <p style="font-size: small;">181717 17時09分 受付開始 184530 17時45分 開演開始 185000 18時00分 開演開始</p> <p style="font-size: small;">担当副理事長 香西 慧 司会 下角 陽子 演 奏 迎 歌うバイオリンスト「清野百香」</p> </div> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;"><b>第52回交流イベント次第</b></p> </div> <div style="flex: 2;">  </div> </div>
<p>北方領土返還要求中央 アピール行進 参加 12月1日</p>	<p>根室管内5市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」（北隣協）の主催。1945年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことになんだ「返還要求運動原点の日」の12月1日に、毎年開催しており今回で10回目の節目となった。長谷川俊輔根室市長ら根室管内の首長や元島民をはじめ、全国の返還運動関係者らが参加した。</p>
	<p>日比谷野外音楽堂で行われた出発式で、スタートし、内幸町、銀座、京橋など2.2kmをデモ行進。倶楽部からも岡村副理事長、間瀬雅晴評議員副議長、本間修事務局長ら6人が参加し、領土返還をアピールした。（写真参照）</p> <p>デモ終了後、長谷川市長らは外務省を訪れ、岸田文雄外相に領土問題の早期解決を要請、3日には安倍晋三首相に「領土交渉の促進」などを訴えた。</p>
<p><b>2. キャンペーン</b> (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン</p>	<p>1) 北海道"NOW"に自治体紹介 ギフト贈呈事業終了に代わり、「北海道NOW」に自治体の紹介（ふるさと納税を含む）を掲載した。</p> <p>本年度は、根室市、北海道根室振興局、別海町、中標津町、標津町を紹介した。10月発行の「北海道NOW」別冊でも紹介し、11万部を北海道フェアの会場に近い渋谷、新宿、港、目黒区など在住の住民に新聞折込で配賦した。</p> <p>2) 夕張市振興へ協力 8月の交流イベントで夕張振興を訴え、メロンの販売や夕張へのふるさと納税をお願いした。</p> <p>3) 根室振興局管内の振興に協力 10月の交流イベントに根室市、別海町、標津町、中標津町、羅臼町を抱える北海道根室振興局がブースを設置、手土産に地元の特産品を協賛するなど根室地域の振興の活動を行った。（写真参照）</p>
<p>(2) 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン</p>	<p>1) ブラウンリボンバッジについて 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行して、それをしっかり後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ</p>

種 別	概 要
	<p>方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大してその輪をさらに広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」が有効である。その趣旨から、「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。</p> <p>ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2010 年 1 月)          配布バッジ数累計 27,107 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 2476 個)          収入総額 4,654,363 円 (発注バッジ総数 24,551 個、発注総額 2,843,000 円)</p> <p>2) 千島桜バッジについて 「シンボルの花」</p> <p>北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資料等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に務めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより 2013 年 9 月 5 日より千島桜バッジの頒布を開始した。</p> <p>千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2013 年 9 月)          配布バッジ数累計 1263 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 585 個)          収入総額 271,320 円 (発注バッジ総数 2000 個、発注総額 140,000 円)</p> <p>3) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の CD 配布</p> <p>北方 4 島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記 CD を、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。(送料込み千円) 累計 476 枚、本年度 5 枚 (無料分を含む)          累計収入金額 380,600 円 本年度収入金額 5,000 円</p>
(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン	<p>1) 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。</p> <p>2) 趣旨：北海道新幹線早期実現のためには、「日常会話に登場する北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」が有効である。その趣旨から、「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3) 早期実現「新幹線」バッジ：</p> <p>絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25mm サイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージー緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2010 年 8 月)          配布バッジ数累計 3,224 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 61 個)          収入総額 527,408 円 (発注バッジ総数 6,000 個、金額 675,675 円)          (札幌延伸は平成 24 年 6 月工事実施計画が認可、新青森・新函館北斗間は、平成 27 年 3 月 26 日に開業予定。)</p>

種 別	概 要
<p><b>3. キャンペーン推進のための調査研究事業</b></p> <p>(ビザ無し交流・特別講演会)</p> <p>(1) ビザ無し交流 国後・択捉島</p>	<p>倶楽部の鈴木秀一評議員会議長が、7月2日から6日にかけてビザなし交流団に参加、北方領土の国後、択捉両島を訪問した。現地ではロシア人島民の心温まる歓迎を受け、サケのふ化場や空港など施設を見学。日本人墓地の清掃作業にも携わった。4泊5日の北方領土を体験し、会報に掲載し広報した。<b>(写真参照)</b></p>  
<p>(2) ビザ無し交流 色丹島</p>	<p>倶楽部常務理事の本間修事務局長が8月7日から10日まで交流訪問事業に参加し、映画「ジョバンニの島」の舞台「色丹島」<b>(写真参照)</b>に行ってきた。行き船内(エトピリカ)で、映画の上映が行われ、原作者の杉田成道、色丹島の旧島民で主人公のモデルとなった得能宏両氏のトークがあった。島内でも得能さんの説明を受け貴重な訪問となった。</p> <p>良い天気にも恵まれたこと、舗装など開発されていないことも相まって、その景観は素晴らしいものであった。</p> <p>入域・出域手続きで国後島の古釜布沖に到着したときに、行きも帰りも沖合に拘留されていた北海道広尾町のサケ・マス流し網漁船「第10邦晃丸」<b>(写真・人影も)</b>を見た。</p> <p>北方領土問題の早期解決の必要を再認識させられた参加となった。会報に記事を掲載し広報した。</p>  
<p>(3) 特別講演会</p>	<p>北海道倶楽部主催の講演会が9月2日、東京・千代田区の「永田町ほっかいどうスクエア」で開かれた。演題は「北海道のために」。</p> <p>高橋はるみ・北海道知事が約60人の参加者を前に、「道にとって大きな課題は人口減への対応だ」などと訴えた。また知事は、地方創生の一環として、東京23区と道の町村会が連携、</p> 

種 別	概 要
	<p>「リタイア組を中心に、東京から道内町村への『お試し移住』を検討している」ことを明らかにした。</p> <p>知事は、こうした挑戦には資本力が必要とし、「首都圏のみなさんが積極的に協力してほしい」と訴えた。</p>
<p><b>4. キャンペーン推進のためのメディア事業</b> (1) 北海道情報紙「北海道 "NOW"」の配布</p>	<p>本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第688号から第698号まで発行（毎月1日、ただし2月1日号は休刊）会員以外への会報の配布も積極的におこなった。（ふるさと会、北海道情報ラックなど）</p>
<p>(2) 「北海道 "NOW"」増刊（別冊）（カラー版）の配布</p>	<p>広報紙「北海道 "NOW"」（別冊）の発行配布は公益事業として、会員外の読者層を狙った記事を集め、配布対象を広げ配布することを目指すものである。（昨年の剰余金を充当し本年は8頁に倍増、北海道フェアの項参照）</p> <p>別冊7号目（第696号別冊10月1日）の発行</p> <p>北海道情報（キャンペーン等）の発信と北海道フェアの告知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11万部印刷し、代々木沿線に新聞（全国紙3紙）の折り込み配布をした。</li> <li>・ 北海道フェア in 代々木会場内北海道倶楽部のブースで配布した。</li> <li>・ 北海道ふるさと会連合会の各会にても配布</li> <li>・ 北方領土隣接地域の特集記事掲載協力を受けた北海道根室振興局に送り配布した。</li> </ul>
<p>(3) 北海道情報ラック設置</p>	<p>19カ所（レストラン、店舗等）設置</p> <p>北海道関連のパンフレット</p> <p>北海道情報紙「北海道 "NOW"」などを毎月送付</p>
<p><b>5. 後援名義の付与</b></p>	<p>1) NPO 法人北海道科学活動ネットワーク</p> <p>「2015 青少年のための科学の祭典北海道内の大会」</p> <p>2) ふるさと会連合会「第21回産直フェア」（北海道フェア）</p> <p>3) 北海道「ふるさと北海道応援フォーラム」</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

## 平成27年度 会員異動状況

(平成27年12月末現在)

		平成 26 年度 末	内 容			平成 27 年度 末
			増	減	差引	
単位						
維持 会 員	社数 (社)	142	2	4	△ 2	140
	口数 (口)	229	3	17	△ 14	215
	登録 会 員 数 (名)	278	49	56	△ 7	271
正会員数 (名)		201	7	24	△ 17	184
個人会員数 合計 (名)		479	56	80	△ 24	455

# 損益計算書（正味財産増減計算書）

損益計算書（正味財産増減計算書・区分経理内訳）

（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

		平成27年度決算			平成27/26年度増減	
		公益事業会計	法人会計	合計		
・末尾①は法人会計に必要な額を限度に法人会計に振り分けた。 ・末尾②は電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・末尾③は使用割合若しくは従事割合(いずれも40%)により、法人会計に振り分けた。		[K]公益事業総合(合計)	[T]公益・法人総計(共通)	[T]公益・法人総計(合計)	前年度決算 平成26年12月31日	増減 (平成27年－平成26年)
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
経常収益 (収入)	(1) 経常収益 [収入]					
	受取会費 (入会金)	0	35,000	35,000	80,000	△ 45,000
	(正会員会費収入)	1,125,790	1,754,210	2,880,000	2,745,000	135,000
	(維持会員会費収入)	2,439,211	3,800,789	6,240,000	6,810,000	△ 570,000
	事業収入 (広告収入)	1,991,164	0	1,991,164	3,749,560	△ 1,758,396
	(交流、キャンペーン等収入)	5,202,734	0	5,202,734	6,448,444	△ 1,245,710
	受取寄付金 (寄付・協賛金)	2,670,000	0	2,670,000	3,040,928	△ 370,928
	受取利息	0	325	325	1,367	△ 1,042
	雑収入	0	31,701	31,701	35,030	△ 3,329
	経常収入計 (収入高合計)	13,428,899	5,622,025	19,050,924	22,910,329	△ 3,859,405
経常費用 (事業費・管理費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費	合計		
	給料手当	3,909,704	2,499,804	6,409,508	6,465,689	△ 56,181
	法定福利費	249,704	166,470	416,174	326,417	89,757
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000	75,000	0
	外注費	2,577,141	49,896	2,627,037	2,940,610	△ 313,573
	荷造運賃	132,414	2,318	134,732	129,673	5,059
	広告宣伝費	1,874,992	0	1,874,992	1,068,577	806,415
	会議費	14,688	42,192	56,880	81,503	△ 24,623
	旅費交通費	55,240	6,910	62,150	49,895	12,255
	通信費	830,715	372,545	1,203,260	1,816,075	△ 612,815
	会合費	5,075,526	87,132	5,162,658	5,350,939	△ 188,281
	消耗品費	63,316	428,337	491,653	452,854	38,799
	事務用品費	9,000	10,491	19,491	9,557	9,934
	新聞図書費	96,888	0	96,888	104,880	△ 7,992
	諸会費	5,000	0	5,000	25,000	△ 20,000
	賃借料	100,173	66,782	166,955	132,109	34,846
	租税公課	0	8,400	8,400	79,000	△ 70,600
	雑費	82,258	325,468	407,726	2,277,271	△ 1,869,545
	経常費用計 (事業費・管理費計)	15,121,759	4,096,745	19,218,504	21,385,049	△ 2,166,545
当期経常増減額 (事業損益金額)	△ 1,692,860	1,525,280	△ 167,580	1,525,280	△ 1,692,860	
当期一般正味財産増減額 (当期純損益金額)	△ 1,692,860	1,525,280	△ 167,580	1,525,280	△ 1,692,860	
一般正味財産期首残高			6,869,284	5,344,004	1,525,280	
一般正味財産期末残高			6,701,704	6,869,284	△ 167,580	
III 正味財産期末残高			6,701,704	6,869,284	△ 167,580	

※注記に記載した、若しくは明細項目(引当金等明細)がないため、附属明細書を作成しない。

① 福利厚生費を含む

② 電話リース料解約費用を含む

③ ふるさと納税謝金を含む。

維持会員口数減  
会員名簿広告なしで減

電話設備買取効果

ふるさと納税ギフト取りやめ効果

# 貸借対照表

貸借対照表  
(平成27年12月31日) (単位円)

科 目	当年度	前年度	増減	
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金・預金	6,668,795	6,658,727	10,068	
貯蔵品	140,696	149,902	△ 9,206	バッジ対価の使用待ち切手等
キャンペーン品	623,370	731,496	△ 108,126	キャンペーン用バッジ等の在庫を計上
未収入金	248,000	343,720	△ 95,720	
仮払金	32,759	0	32,759	新年交礼会用はがき
<b>流動資産合計</b>	<b>7,713,620</b>	<b>7,883,845</b>	<b>△ 170,225</b>	
<b>2. 固定資産</b>				
什器備品	3,000	3,000	0	
電話加入権	1	1	0	備忘価額
<b>固定資産合計</b>	<b>3,001</b>	<b>3,001</b>	<b>0</b>	
<b>資産合計</b>	<b>7,716,621</b>	<b>7,886,846</b>	<b>△ 170,225</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	46,160	141,601	△ 95,441	後納郵便代
仮受金	307,757	289,961	17,796	源泉所得税預かりほか
<b>流動負債合計</b>	<b>353,917</b>	<b>431,562</b>	<b>△ 77,645</b>	
<b>2. 固定負債</b>				
退職給与引当金	661,000	586,000	75,000	従業員退職引当(1人分)
<b>固定負債合計</b>	<b>661,000</b>	<b>586,000</b>	<b>75,000</b>	
<b>負債合計</b>	<b>1,014,917</b>	<b>1,017,562</b>	<b>△ 2,645</b>	
<b>III 正味財産の部</b>				
一般正味財産 (正味財産期末残高)	6,701,704	6,869,284	△ 167,580	
<b>正味財産合計</b>	<b>6,701,704</b>	<b>6,869,284</b>	<b>△ 167,580</b>	
<b>負債および正味財産合計</b>	<b>7,716,621</b>	<b>7,886,846</b>	<b>△ 170,225</b>	

※注記に記載した、若しくは明細項目(引当金等明細)がないため、附属明細書を作成しない。

# 財産目録

## 財産目録

(平成27年12月31日現在)

(単位円)

科目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減	
<b>(流動資産)</b>						
現金・預金		運転資金として	6,668,795	6,658,727	10,068	
現金	現金手元有高		0	0	0	
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所1		1,595,622	437,969	1,157,653	口座番号1784368
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所2		0	0	0	口座番号2560218
預金	普通預金 北洋銀行東京支店		3,573,100	4,329,535	△756,435	口座番号0123000
預金	普通預金 北海道銀行東京支店		451,137	451,346	△209	口座番号0546136
預金	定期預金 北洋銀行東京支店		200,000	200,000	0	口座番号0008884
預金	定期預金 北海道銀行東京支店		100,000	100,000	0	口座番号0017317
貯金	郵便振替預金		748,936	1,139,877	△390,941	口座番号00170-0-44997
貯蔵品計		在庫として	140,696	149,902	△9,206	
切手	事務所保管		82,010	67,292	14,718	バッジ対応の使用待ち切手
はがき	返信先印刷済事務所保管		38,520	56,740	△18,220	返信用はがき
はがき	事務所保管		12,426	10,450	1,976	
レターパック	事務所保管		3,540	3,020	520	バッジ等送付用
収入印紙	事務所保管		4,200	12,400	△8,200	
キャンペーン品計		在庫として	623,370	731,496	△108,126	キャンペーン用バッジ等の在庫
ブラウンリボンバッジ	事務所保管		162,214	218,556	△56,342	
千島桜バッジ	事務所保管		49,236	92,610	△43,374	
CD	事務所保管		88,740	90,440	△1,700	
新幹線バッジ	事務所保管		323,180	329,890	△6,710	
未収入金		会員会費収入ほか	248,000	343,720	△95,720	会員会費収入ほか
仮払金			32,759	0	32,759	
<b>流動資産合計</b>			<b>7,713,620</b>	<b>7,883,845</b>	<b>△170,225</b>	
<b>(固定資産)</b>						
什器備品計			3,000	3,000	0	
絵画 西村計雄 「ハイデルベルグ63」	事務所保管		1,000	1,000	0	
絵画 西村貴久子 「流水」	事務所保管		1,000	1,000	0	
絵画 岩船修三 「白鳥」	事務所保管		1,000	1,000	0	
電話加入権		備忘価額	1	1	0	備忘価額
<b>固定資産合計</b>			<b>3,001</b>	<b>3,001</b>	<b>0</b>	
<b>資産合計</b>			<b>7,716,621</b>	<b>7,886,846</b>	<b>△170,225</b>	
<b>(流動負債)</b>						
未払金			46,160	141,601	△95,441	後納郵便代ほか
仮受金計			307,757	289,961	17,796	
年会費		先払い会費	60,000	30,000	30,000	先払い会費
源泉所得税			236,440	238,630	△2,190	源泉所得税
雇用保険			11,317	21,331	△10,014	
<b>流動負債合計</b>			<b>353,917</b>	<b>431,562</b>	<b>△77,645</b>	
<b>(固定負債)</b>						
退職給与引当金		従業員退職引当	661,000	586,000	75,000	
<b>固定負債合計</b>			<b>661,000</b>	<b>586,000</b>	<b>75,000</b>	
<b>負債合計</b>			<b>1,014,917</b>	<b>1,017,562</b>	<b>△2,645</b>	
<b>正味財産合計</b>			<b>6,701,704</b>	<b>6,869,284</b>	<b>△167,580</b>	
<b>負債および正味財産合計</b>			<b>7,716,621</b>	<b>7,886,846</b>	<b>△170,225</b>	

# キャッシュフロー計算書

## キャッシュフロー計算書(間接法)

平成27年1月1日～平成27年12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	△ 167,580	△ 167,580
貯蔵品(増減)	△ 9,206	9,206
キャンペーン品(増減)	△ 108,126	108,126
未収入金(増減)	△ 95,720	95,720
仮払金 (増減)	32,759	△ 32,759
固定資産 (増減)	0	0
未払金 (増減)	△ 95,441	△ 95,441
仮受金 (増減)	17,796	17,796
退職給与引当金(増減)	75,000	75,000
	キャッシュフロー	10,068

科 目	当年度	前年度
現金・預金	6,668,795	6,658,727

増減	10,068
----	--------

# 計算書類に対する注記

## 計算書類に対する注記

### 1 重要な会計方針ほか

(1) 公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。

(2) 会費収入は、公益法人会計に配賦した。ただし、必要額は法人会計に配賦した。

公益社団法人北海道倶楽部会費規程

（会費の使途）

第6条 原則として、入会金及び年会費は公益目的事業に係る収益とするが、管理業務に係る必要な費用の額を限度に管理業務に係る収益に充当する事が出来る。

(3) 寄附金は公益法人会計に配賦した。

(4) 下記共通費用は公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し配賦した。

科目	総額	公益事業会計 配賦額	法人会計 配賦額	配賦基準	公益事業会計 配賦割合
給料手当（職員給料手当 諸謝金等を除く）	6,249,508	3,749,704	2,499,804	従事割合	60%
給料手当（諸謝金等）	160,000	160,000	0	従事割合	100%
給料手当計	6,409,508	3,909,704	2,499,804		
退職給付繰入額	75,000	45,000	30,000	従事割合	60%
法定福利費	416,174	249,704	166,470	従事割合	60%
賃借料（事務所使用料）	166,955	100,173	66,782	使用割合	60%
通信費(電話、ネット費用のみ)	216,983	130,189	86,794	使用割合	60%
合計	7,284,620	4,434,770	2,849,850		

(5) 償却すべき固定資産はない。

(6) 退職給付繰入額（退職給与引当金）は期末要支給額の100%を計上している。

(7) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記に記載するとおりである。

### 2 流動資産・流動負債と差額

科目	前期末残高	期中増減	当期末残高
現金・預金	6,658,727	10,068	6,668,795
その他流動資産	1,225,118	△ 180,293	1,044,825
流動資産合計	7,883,845	△ 170,225	7,713,620
その他流動負債	431,562	△ 77,645	353,917
流動負債合計	431,562	△ 77,645	353,917
差額	7,452,283	△ 92,580	7,359,703

参考(固定資産・固定負債)

固定資産	3,001	0	3,001
固定負債	586,000	75,000	661,000
差額	△ 582,999	△ 75,000	△ 657,999
正味財産合計	6,869,284	△ 167,580	6,701,704

## 監査報告書

公益社団法人北海道倶楽部の平成27年度の事業、会計報告につき、諸資料、帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

平成28年2月18日

公益社団法人北海道倶楽部

監事 五十嵐 紀男 ⑩

監事 亀岡 義一 ⑩

平成27年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

平成28年3月9日

公益社団法人 北海道倶楽部

理事長 西村 守正 ⑩

# 平成 28 年度事業計画書

平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで

種 別	概 要
平成 28 年度事業計画 1. 基本方針	公益社団法人 3 年目に入り、公益事業推進を着実にを行い、公益社団法人としての体制確立を目指す。
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人の体制整備を行う。</li> <li>・会費収入の確保や寄付による公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。</li> <li>・引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。</li> <li>・当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。</li> <li>・評議員会、部会の活性化とともに会員参加型事業推進の定着に務める。</li> <li>・北海道等の行政組織やボランティア、企業メセナなどとのタイアップによる公益事業活動の充実をはかる。</li> </ul>
3. 公益事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。</li> <li>○下記分野ごとに部会で随時具体的に公益事業を企画し推進する。</li> </ul>
広報活動	(1) 北海道等のための広報活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年 12 回)を発行する。</li> <li>・昨年度開始した、道内各自治体の紹介ページ(ふるさと納税なども紹介)を継続するとともに、増ページやさらなる拡充(新幹線沿線紹介)を企画する。</li> <li>・同紙の新聞折り込み配布を行う。</li> <li>・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。</li> <li>・倶楽部の各種イベントでの北海道等のための広報活動を行う。</li> </ul>
地域活性化事業支援	(2) 北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会(北海道と根室地域 1 市 4 町で構成)など、北海道等から依頼されている地域視察、地域振興等に協力する。</li> </ul>
北方領土返還運動	(3) 北方領土返還運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。</li> <li>・北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。</li> <li>・北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CDの頒布を行う。</li> <li>・北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。</li> <li>・内閣府(含む倶楽部)などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」(2月7日、北方領土の日、例年総理大臣が出席)に参加する。</li> <li>・根室市の主催する「北方領土ノサップ岬マラソン大会」(8月開催。30回を越える)開催に協力する。</li> <li>・根室市等が主催し全国 70 団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピール行進」(12月1日、銀座行進)に参加する。</li> <li>・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年 12 回)、同紙の新聞折り</li> </ul>

種 別	概 要
	<p>込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動や北方領土返還要求署名活動を行う。</p>
<p>ふるさと納税</p>	<p>(4) 北海道等へのふるさと納税等寄付の推進運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附者に対する北海道産品の贈呈は当初の目的を充分達成したので、昨年度からはふるさと納税者に対するギフトの贈呈は終了し、広報活動に注力した。</li> <li>・本年度も情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベント他で北海道等のふるさと納税等寄付の推進キャンペーン活動を行う。</li> </ul>
<p>新幹線早期実現</p>	<p>(5) 北海道新幹線早期実現運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。</li> <li>・北海道情報紙「北海道NOW」発行、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベントで北海道新幹線早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。</li> <li>・3月26日、新青森・新函館北斗間の開業に合わせ同紙3月号より新幹線関係自治体の紹介を開始する。</li> </ul>
<p>北海道情報紙 講演会の開催 イベントの開催・参加</p>	<p>(6) 上記各号を達成するための北海道情報紙などの発行、講演会の開催及びイベントの開催・参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道情報紙「北海道NOW」(本紙・増刊号 年12回)を発行する。</li> <li>・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。</li> <li>・キャンペーン(北方領土返還・ふるさと納税・新幹線早期実現)をテーマに「新年交礼会」を開催する。(150人規模)</li> <li>・キャンペーンをテーマに夏に「交流の夕べ」を開催する。(100人規模)</li> <li>・キャンペーンをテーマに秋に「交流イベント」を開催する。(300人規模)</li> <li>・代々木の北海道フェアに参加し、キャンペーンのブースを出展し、北方領土返還要求署名活動をする。</li> <li>・「北方領土返還要求全国大会」(2月7日、北方領土の日)に参加する。</li> <li>・「北方領土ノサップ岬マラソン大会」(8月開催)開催に協力する。</li> <li>・「北方領土返還要求中央アピール行進」(12月1日)に参加する。</li> <li>・北海道が主催する「ふるさと北海道応援フォーラム」を後援し、協力する。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっと暮らしについて、道内外の交流について、アイヌ文化について、食について、環境問題、その他について、当倶楽部として今後実施すべき事業を検討する。</li> </ul>

種 別	概 要	予定時期
別表 公益事業計画 時期別一覧表  イベント・交流会等は HPなどで会員外、一 般へ参加案内する  部会対応 キャンペーン等の内容 詳細は担当の部会で今 後検討し実施する。	<b>新年交礼会開催</b> 北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペー ン 「北海道新幹線早期実現」「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーンの年初スタートを実施。	1月22日
	「北方領土返還要求全国大会」に参加	2月7日 (北方領土の日)
	「北方領土返還要求中央アピール行進」に参加	12月1日
	<b>交流の夕べを開催</b> キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。	8月4日
	<b>北海道での交流</b> 北方領土隣接地域(根室など1市4町)視察・交流、一般参加可(費用自己負担) 「北方領土ノサップ岬マラソン大会」開催協力	8月
	<b>代々木北海道フェアへ出展</b> 代々木公園のイベントスペースに出展 キャンペーン・情報展示のためイベントに参加、情報展示イベントを実施。 情報紙「北海道"NOW"」増刊号11万部発行、代々木中心に全国紙折込 (当倶楽部の公益事業、道内情報を広報することを主旨とするキャンペーンな ど。北方領土返還要求署名活動など。)	10月 (9/30～10/2)
	<b>交流イベント「We Love Hokkaido」の開催(旧道産子の会)</b> 北海道関係者、北海道ファン、一般参加者300名、有料1万円 キャンペーン、公益事業の広報、寄附に対する感謝、表彰状贈呈などを実施。	10月末
	<b>講演会、シンポジウムの開催</b> 当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般も参加出来、無料 (講演テーマ、行政との協調などにより公共性のあるものとし、一般参加を呼 びかける。)	未定(講師、 会場等のスケ ジュールによ る)
	<b>情報紙「北海道"NOW"」の発行・配布</b> 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道"NOW"」本紙・増刊号年 12回)を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、 発行体制を整備。一般配布(有料 月額80円)有り。	毎月
	<b>北海道情報ラックに北海道情報を配布</b> 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに配布する。(無料配布)	毎月
<b>ホームページでの広報</b> 倶楽部の対外的広報のため、刷新・更新を実施。	随時	
倶楽部内交流の同好会の活動に協力。(独立運営・独立会計、北星会(ゴルフ)、 囲碁会)	随時	

# 平成 28 年度収支予算書

## 平成28年度 収支予算書

		公益事業会計	法人会計	合計	
<p>・末尾①は法人会計に必要な額を限度に法人会計に振り分けた。</p> <p>・末尾②は電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。</p> <p>・末尾③は使用割合若しくは従事割合(いずれも40%)により、法人会計に振り分けた。</p>		[K]公益事業総合(合計)	[T]公益・法人総計(共通)	[T]公益・法人総計(合計)	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
経常収益 (収入)	(1) 経常収益 [収入]				
	受取会費 (入会金)	0	30,000	30,000	
	(正会員会費収入)	1,395,719	1,319,281	2,715,000 ①	
	(維持会員会費収入)	3,192,418	3,017,582	6,210,000 ①	
	事業収入 (広告収入)	3,191,164	0	3,191,164	
	(交流、キャンペーン等収入)	5,170,562	0	5,170,562	
	受取寄付金 (寄付・協賛金)	1,869,000	0	1,869,000	
	受取利息	0	325	325	
	雑収入	0	31,251	31,251	
	<b>経常収入計 (収入高合計)</b>	<b>14,818,863</b>	<b>4,398,439</b>	<b>19,217,302</b>	
	経常費用 (事業費・管理費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	<b>事業費</b>	<b>管理費</b>	
		給料手当	3,852,077	2,596,565	6,448,642 ②
		法定福利費	241,514	161,010	402,524 ②
退職給付繰入額		45,000	30,000	75,000 ②	
外注費		3,158,311	49,896	3,208,207	
荷造運賃		131,684	2,318	134,002	
広告宣伝費		1,074,992	0	1,074,992	
会議費		14,688	29,792	44,480	
旅費交通費		59,250	6,910	66,160	
通信費		804,186	359,062	1,163,248 ②	
会合費		5,080,526	87,132	5,167,658	
消耗品費		63,316	423,048	486,364	
事務用品費		9,000	10,491	19,491	
新聞図書費		96,888	0	96,888	
諸会費		5,000	0	5,000	
賃借料		100,173	66,782	166,955 ③	
租税公課		0	8,400	8,400	
雑費		82,258	322,728	404,986	
<b>経常費用計 (事業費・管理費計)</b>		<b>14,818,863</b>	<b>4,154,134</b>	<b>18,972,997</b>	
<b>当期経常増減額 (事業損益金額)</b>	<b>0</b>	<b>244,305</b>	<b>244,305</b>		
<b>当期一般正味財産増減額 (当期純損益金額)</b>	<b>0</b>	<b>244,305</b>	<b>244,305</b>		
一般正味財産期首残高			6,750,759		
一般正味財産期末残高			6,995,064		
III 正味財産期末残高			6,995,064		

理事及び監事選任（選任決議事項） その他（報告事項）	
<p><b>理事及び監事の選任</b></p> <p>次期理事・監事 （本総会決議事項） 任期 本総会終結後から、 本総会終結後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時会員総会の終結の時まで （平成30年3月までの予定）</p>	<p>現在の理事及び監事は本会員総会終了時に全員任期が終了となります。</p> <p>定款第21条第1項により、本会員総会の決議により選任すべき理事及び監事については、以下の候補者を理事及び監事に選任頂きますようお願いいたします。</p> <p>（1）理事の候補者 再任（重任） 松田昌士、小池明夫、村上隆男、岡村進、香西慧、本間修 新任 川村隆（株式会社日立製作所 相談役） なお、代表理事 理事長 西村守正は任期終了により退任します。</p> <p>（2）監事の候補者 再任（重任） 五十嵐紀男、亀岡義一</p>
<p><b>その他</b></p>	<p><b>本総会終了後最初の理事会（書面）決議について</b></p> <p>定款第21条第2項に定める、理事の中より理事会の決議により定めることとされる、会長1名、副会長若干名、理事長1名、副理事長若干名及び常務理事1名は標記理事会で定める予定です。</p> <p>なお、定款第22条第5項の定めで、会長及び理事長は一般法人法第91条第1項第1号に定める代表理事、副会長、副理事長及び常務理事は同第2号に定める業務を執行する理事とされます。</p> <p><b>本会員総会終了時に全員任期が終了となる「評議員」及び「相談役ほか」の選任について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定款第24条第2項により、正会員若しくは登録会員の中から理事会の推薦により、理事長が委嘱する50名以内の「評議員」についても標記理事会で推薦される予定です。</li> <li>・定款25条に係る「相談役などの各役員」も標記理事会で推薦する予定です。</li> <li>・定款第39条第2項により、会員のうちから理事会が選任する「部会の構成員」は別途、本総会后早い時期に、開催される理事会で決議が行われる予定です。</li> </ul>

# 公益社団法人北海道倶楽部 平成27年度定時会員総会招集通知

正会員、維持会員 各位

公益社団法人北海道倶楽部

代表理事 理事長 西村 守正

公印省略

平成27年度定時会員総会を下記の通り行いますので、お忙しいところ恐縮ですがご参集下さい。

記

**開催日時：**

平成28年3月9日12時30分より（約1時間の予定。12時開場。昼食の用意はありません。）

**開催場所：**

サッポロビール(株)本社1階会議室

渋谷区恵比寿4-20-1、03-5475-8065

**議事に付すべき事項：**

別紙「平成27年度定時会員総会 議案」の通り。

**議決権行使会員：**

会員総会の議決権を持つ会員は、「正会員」及び「維持会員」で、各1個の議決権を持っています。  
 (登録会員は議決権はありませんが、維持会員として、維持会員の議決権行使書を持参し、議決権を行使することが出来ます。)

**議決権行使方法について：**

議決権は、議決権を持つ「正会員」及び「維持会員」が下記の方法により行使して下さい。

1. 「会員総会出席による議決権行使」
2. 「委任による議決権行使」(欠席で「委任による議決権行使」欄が無記入の場合は議長に委任したものとさせていただきます。)
3. 「事前の議決権行使」

いずれも、招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法で3月4日までに北海道倶楽部宛に送付して下さい。

会員総会の招集通知は北海道倶楽部に登録された会員(社員)の住所に送付しています。招集通知に同封した、【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】の用紙(右欄参照)を使って倶楽部宛に送付されたご連絡は会員の真正な意思表示とさせていただきます。

**1. 会員総会出席による議決権行使：**

会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案(本書)」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

**2. 委任による議決権行使：(定款第18条第2項)**

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【委任による議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。

受任者は原則として議決権行使書を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

**3. 事前の議決権行使：(定款第18条第1項)**

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。

以上

**公益社団法人北海道倶楽部 (TEL:03-3581-4021)**

郵送先：〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17

FAX先：03-3581-4022

mail: hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp

(下記□にチェックを入れ**至急**送ってください。)

未記入の場合議決権行使を議長に委任するとさせていただきます。

**【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】**出席 (議決権行使書と議案をご持参ください。)欠席 (委任もしくは事前議決権行使)**【委任による議決権行使】 (記入がない場合は議長とします。)**議長に委任する。議決権行使書持参者に委任する。

▼出席、委任されない方。

**【事前議決権行使】 (〃否〃の場合のみ下記□内に×をご記入ください。)****承認事項**損益計算書 (正味財産増減計算書)貸借対照表 財産目録キャッシュフロー計算書計算書類に対する注記監査報告書**選任事項**

(1) 理事 (候補者)

松田昌士 小池明夫村上隆男 岡村進香西慧 本間修川村隆

(2) 監事 (候補者)

五十嵐紀男亀岡義一

平成28年3月9日 (正会員・維持会員のID、お名前・ご担当)

**議決権者名を事前に印刷してあります**

至急送付ください。3月4日必着でお願いいたします。この葉書を「郵送」、「FAX」又は「スキャンしメールに添付」してください。